

# 温 泉 分 析 書

日本衛生 温 第 0035 号

1 申請者の住所及び氏名	北海道北広島市西の里511番地1	株式会社 山根園ウエストヒル 代表取締役 山根 勸						
2 源泉名及び湧出地	西の里 温泉 ( 源泉名 ウエストヒルホットスプリング ) 北広島市西の里516番地1							
3 湧出地における調査及び試験成績	(イ) 調査及び試験者 : 日本衛生株式会社 藤澤英樹							
	(ロ) 調査及び試験年月日 : 平成 24 年 4 月 19 日							
	(ハ) 泉 温 : 31.9 °C ( 気温 12 °C )	(ニ) 湧出量 : L/min ( 動力揚湯 )						
	(ホ) 知覚的試験 : 褐色澄明、無味、無臭							
	(ヘ) pH 値 : 8.6	(ト) ラドン(Rn) :						
4 試験室における試験成績	(イ) 試験者 : 日本衛生株式会社 藤澤英樹							
	(ロ) 分析終了年月日 : 平成 24 年 5 月 10 日							
	(ハ) 知覚的試験 : 褐色澄明、無味、無臭 (採水後 2時間)							
	(ニ) 密度 : 0.9986	(20/4°C)						
	(ホ) pH 値 : 8.62							
	(ヘ) 蒸発残留物 : 0.648 g/kg (130°C)							
5 試料1kg中の成分 : 分量及び組成								
(イ) 陽イオン	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	(ロ) 陰イオン	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)	
水素イオン H <sup>+</sup>				フッ素イオン F <sup>-</sup>	2.5	0.13	1.29	
ナトリウムイオン Na <sup>+</sup>	213.7	9.30	96.16	塩素イオン Cl <sup>-</sup>	63.5	1.79	17.78	
カリウムイオン K <sup>+</sup>	8.7	0.22	2.28	水酸イオン OH <sup>-</sup>				
アンモニウムイオン NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	0.4	0.02	0.21	硫化水素イオン HS <sup>-</sup>	0.0	0.00	0.00	
マグネシウムイオン Mg <sup>2+</sup>	0.2	0.02	0.21	チオ硫酸イオン S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	0.0	0.00	0.00	
カルシウムイオン Ca <sup>2+</sup>	2.3	0.11	1.14	硫酸イオン SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	0.5	0.01	0.10	
アルミニウムイオン Al <sup>3+</sup>				炭酸水素イオン HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	410.6	6.73	66.83	
マンガンイオン Mn <sup>2+</sup>				炭酸イオン CO <sub>3</sub> <sup>2-</sup>	42.1	1.40	13.90	
第一鉄イオン Fe <sup>2+</sup>				リン酸イオン HPO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	0.7	0.01	0.10	
第二鉄イオン Fe <sup>3+</sup>								
計	225.3	9.67	100.	計	519.9	10.07	100.	
(ハ) 遊離成分								
非解離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	非解離成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)		
メタ珪酸 H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub>	126.6	1.62						
メタ硼酸 HBO <sub>2</sub>	6.0	0.14						
計	132.6	1.76	計					
溶存物質 (ガス性のものを除く)	0.878 g/kg							
溶存ガス成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	腐植質 : 1.0 mg/kg					
遊離二酸化炭素 CO <sub>2</sub>	1.7	0.04						
遊離硫化水素 H <sub>2</sub> S	0.0	0.00						
計	1.7	0.04						
成分総計	0.881 g/kg							
(ニ) その他の微量成分	マンガン : 0.007 mg/kg、第一鉄 : 0.035 mg/kg、銅 : 0.002 mg/kg、亜鉛 : 0.003 mg/kg、 アルミニウム : 0.011 mg/kg 鉛、カドミウム、総水銀、総ヒ素 : 検出せず							

6 泉 質	アルカリ性単純温泉 ( アルカリ性低張性低温泉 )
7 禁忌症、適応症	「温泉分析書別表」中5に記載する。
平成 24 年 5 月 10 日	
登録分析機関 登録番号 北海道 第11号 札幌市清田区平岡1条1丁目1番40号 日本衛生株式会社	

# 温 泉 分 析 書 別 表

1	源 泉 名	ウエストヒルホットスプリング
2	源 泉 所 在 地	北海道北広島市西の里516番地1
3	温 泉 分 析 申 請 者	北広島市西の里511番地1 株式会社 山根園ウエストヒル 代表取締役 山根 勲
4	泉 質	アルカリ性単純温泉 (アルカリ性低張性低温泉) (旧泉質名：単純温泉)
5	療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。	
浴	禁 忌 症	急性疾患（特に熱のある場合）、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患 活動性の結核、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（特に初期と末期）。
用	適 応 症	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、冷え症 慢性消化器病、痔疾、病後回復期、疲労回復、健康増進。
飲	禁 忌 症	
用	適 応 症	
浴 用、飲 用 の 一 般 的 注 意 事 項	<p>1 入浴の方法及び注意</p> <p>(1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので十分注意をすること。</p> <p>(2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分位とし、なれるにしたがって延長してもよい。</p> <p>(3) 入浴中は運動浴の場合は別にして、一般には安静を守ること。</p> <p>(4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。</p> <p>(5) 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴（42℃以上）を禁忌とする。</p> <p>(6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。ただし、「湯ただれ」を起こし易い人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。</p> <p>(7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。</p> <p>(8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。</p> <p>(9) その他</p> <p>2 飲用の方法及び注意</p> <p>(1) 飲用の1回量は一般に100mlないし200ml程度とし、その1日量はおおむね200mlないし1,000mlまでとする。</p> <p>(2) 一般には食前30分ないし1時間がよい。</p> <p>(3) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けること。</p> <p>(4) その他</p> <p style="padding-left: 20px;">大人一人一日の飲用量は640ml以内とし、食後に飲用すること（フッ素含有）。</p> <p style="padding-left: 20px;">15歳以下のものについては、知見が必ずしも十分でないため、原則的には飲用を避けること。</p> <p style="padding-left: 20px;">ただし、例外的に飲用する場合には、医師の指導を受けること。</p> <p>◎ 温泉療養に際しては、医師の指導を受けることが望ましい</p> <p>(注) この別表は、温泉法第14条による掲示に必要な参考資料となるものである。</p>	
平成 24 年 5 月 15 日		決定者 北海道立衛生研究所長 